

バタンバン州 EENC スタディーツアー



バタンバン州病院小児科病棟の視察

12月26日～28日にかけて、プロジェクト関係者約30名がバタンバン州病院、マオンルセイ保健行政区（OD）及びリファラル病院を視察しました。バタンバン州はカンボジアの西部に位置しており、国内第二の都市になります。現在、バタンバン州病院では無償資金協力にて新設病棟が建設中です。これは、病院敷地内に点在している病棟を集中化させ、この地域の高次医療機関としての患者サービスの向上を図る目的で行われています。今回、バタンバン州病院が視察先に選ばれた理由として、カンボジアにおける早期必須新生児ケア（EENC）の優秀州として評価されていることが挙げられます。スタディーツアーでは、1）州病院、2）リファラル病院の2グループに分かれて視察を行いました。

バタンバン州病院は、設備も規模も他の州と大きな違いはありませんが、病院スタッフ（特に小児科医長）の優れたリーダーシップのもとでEENCに取り組んでいる姿勢が伺えました。小児科病棟では、母子同室の機会を増やし、カンガルーケアに移行する流れを重視しています。



EENC 会議の様子

参加者からは、病院内の書類の管理が行き届いていることや動線がきちんと整備されているとの声がありました。

リファラル病院にて視察を行ったグループは、病室内にカーテンが整備されており患者同士のプライバシーが守られていることなどが良い点として挙げられた一方、分娩経過図やワクチンの記録に関する改善点も共有されました。午後はそれぞれの視察から見えた点を共有するワークショップ、翌日はバタンバン州年次 EENC 会議にオブザーバー参加をしました。バタンバン州では 2 つのリファラル病院が帝王切開後の早期母子接触を含む EENC 活動を実施していますが、コンポンチャム州のリファラル病院で唯一帝王切開を行っているスレイセントー病院の産科医師が今回参加し、EENC 会議にて熱心に質問をしていました。